

平成29年度
MEMSパークコンソーシアム
総会議案書

平成28年度 事業活動報告・決算報告
平成29年度 事業計画（案）・審議事
項

報告事項

1 活動方針（平成 28 年度総会決定）

既存事業については、経常的経費の削減を行い、削減分については、平成 27 年度に実施した会員アンケートの結果を反映し、ネットワーク活動のさらなる充実に充て、会員満足度の向上を図る。

また、マスコミからの注目度の高い国際イノベーションコンテスト（iCAN）の活用や、展示会への出展を通して広報活動を強化することで、新規会員の獲得を図る。

（1）情報発信事業

MEMS 集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS 技術の積極的な活用を促すとともに、WEB サイト、メールマガジン等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実に努める。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールする。

さらに、仙台 MEMS ショールームの各種展示物のアップデートにより、MEMS 分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを開催することにより、仙台地域における MEMS の拠点性をアピールする。

（2）人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施する。

また、iCAN'16 国内予選の仙台開催、世界大会の日本事務局の運営により、高校生から大学院生等の次世代の MEMS 技術を担う若手人材育成を強力に推進する。

（3）技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEB や東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図る。

（4）ネットワーク形成事業

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援する。

2 活動内容（実績）

(1) 情報発信事業

①公開セミナーの開催

■MEMS 集中コース in 仙台（MEMS 集中講義）

日程：平成 28 年 8 月 3 日（水）～5 日（金）

場所：東北大学カタールホール

参加者数：114 名（一般 94 名，講師・関係者 20 名）

内容：

- ・平成 19 年以来の仙台開催となった今年は，東北大学，フラウンホーファー等の研究者の方々より，MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用展開，最新の技術・業界動向や，センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等，様々な角度から情報提供を行った。
- ・併せて，8 月 2 日には東北大学試作コインランドリ等の見学会を実施し，集中コース実施期間中には，会場前ホワイエにて Mini 展示会を開催しポスター・サンプルの展示及び配布を行った。
- ・また，参加者の相互交流，連携構築を目的とした交流会も行った。



図 1 講義風景①



図 2 講義風景②

■仙台マイクロナノ国際フォーラム 2016

日程：平成 28 年 11 月 24 日（木）～25 日（金）

場所：仙台サンプラザ 3 階「クリスタルルーム」

参加者数：116 名

内容：

- ・1 日目のフラウンホーファーシンポジウムでは，各研究所の研究内容や，MEMS をはじめとした最新の応用技術のトレンドや傾向について，ご講演いただいた。
- ・2 日目の午前，「東北大学西澤潤一記念研究センター（試作コインランドリや仙台 MEMS ショールーム）」と仙台市内大手 MEMS 関連企業である「アドバンテストコンポーネント」の 2 か所において視察ツアーを実施した。

- ・ 2日目の午後は、東北大学マイクロシステム融合研究開発センター（ μ SIC）シンポジウムを開催し、文部科学省における産学連携施策の展望や、マイクロナノ分野における有望な応用技術の研究についてご講演いただいた。
- ・ 2日間を通して企業の展示会を行い、12社の企業の皆さまからマイクロナノ分野の技術をご紹介いただいた。



図1 講演の様子



図2 企業展示の様子

■ マイクロシステム融合研究会

本研究会では、大学や企業の方が集まって、各々の研究している技術の現状や、新しいプロジェクトの展望、MEMSを含む今後のナノテク分野の産業の在り方などについて発表・議論した。

・ 第18回マイクロシステム融合研究会

日程：平成28年6月10日（金）13:00～17:30、18:00～20:00 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台MEMSショールーム」

参加者数：55名

・ 第19回マイクロシステム融合研究会

日程：平成28年10月14日（金）13:00～17:30、18:00～20:00 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台MEMSショールーム」

参加者数：40名

・ 第20回マイクロシステム融合研究会

日程：平成29年2月17日（金）13:40～17:30、18:00～20:00 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台MEMSショールーム」

参加者数：45名

■ マイクロシステム融合研究開発センターシンポジウム（拠点成果最終報告会）

日程：平成29年3月13日（月）10:30～16:55、17:00～ 交流会

場所：仙台サンプラザ3階「クリスタルホール」

参加者数：135名

② 展示会の開催・出展

■ MEMS Engineer Forum 2016

日程：平成28年5月11日（水）～12日（木）

会場：両国・国際ファッションセンターホール

来場者数：613名(2日間延べ人数)

内容：平成28年度は、医療用MEMS、ロボティクスMEMS、車載用MEMS、最新MEMS技術、MEMSアプリケーション/MEMS製造技術等にフォーカスし、MEMS技術の研究者、開発者、エンジニアを多数誘致し、各種装置・ツール提供者とユーザーとの間の様々な課題を実務レベルで検証するセミナー・展示会を開催した。

■MEMS センシング&ネットワーク展

日程：平成28年9月14日(水)～16日(金)

会場：パシフィコ横浜

展示会来場者(3日間合計)：7,718名

ブース来場者(3日間合計)：87名

相談件数：5件

内容：世界最大規模のMEMS、超精密・微細加工、ナノテク、バイオと応用システムの専門見本市。多くの技術者が来場するため、ブースで具体的な質問・要望・提案のやり取りが活発に行われる。MEMSPCの提携会員である東北6県と新潟県の公設試と、共同で出展した。

■SEMICON Japan 2016

日程：平成28年12月14日(水)～16日(金)

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者(3日間合計)：64,163名

ブース来場者(3日間合計)：177名

相談件数：11件

内容：

- ・半導体製造装置と材料メーカーによる展示に加え、特別展「World of IoT」など、様々な新たな取り組みに挑んでいる展示会。
- ・東北パビリオンにて、活動PR及び新規会員募集や、試作コインランドリを中心とした、地域企業との連携によるMEMS開発の優位性をPRした。
- ・平成28年度は、特別展「World of IoT」にて、iCAN'16国内予選を1位で通過し、世界大会に出場した京都大学が開発・製作した、使用者の腹部の膨らみを感じて自動で長さを調節するベルトの「ベルテスト」の展示・実演を行い、本コンソーシアムの人材育成事業の実績をPRするとともに、協賛募集を積極的に行った。



図：SEMICON Japan 2016 での展示の様子

③MEMS ショールームの運営

MEMS ショールームを会場とした研究会の開催等により、数多くの方に展示デバイスやMEMSの歴史等をご見学いただきました。

- ・平成28年度見学者数：80名
- ・オープン（2012年5月）以降累積見学者数：982名 ※平成29年4月末現在

(2) 人材育成事業

①第7回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト (iCAN'16) 国内予選

日程：平成28年4月17日（日）

場所：エル・パーク仙台

参加者総数：120名

内容：

- ・MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・高校生計13チームが予選に参加し、審査の結果、京都大学チーム（Team TBT）と、郡山北工業高校チーム（TEAM RTOS, Innovation ROBOT Team）の上位3チームが世界大会出場を決めた。



図1 展示の様子



図2 表彰式の様子

②第7回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト (iCAN'16) 世界大会

日程：平成28年7月6日（水）～7月8日（金）

場所：フランス・パリ

出場国（地域）：日本、フランス、中国、スイス、ドイツ、アメリカ、イギリス、タイ、台湾、ポルトガル、香港から23チーム

内容：

- ・一般参投票及び審査員による審査の結果、郡山北工業高校チーム (TEAM RTOS) の『iBuki』が Bronze Prize を、京都大学チーム (Team TBT) の『BELTEST』と郡山北工業高校チーム (Innovation ROBOT Team) の『Baby Informer』が Special Prize を受賞した。



図 1 展示の様子



図 2 参加チームの集合写真

なお、郡山北工業高校チーム (Innovation ROBOT Team) が開発した『Baby Informer』が、朝日新聞 (全国版・WEB 版) に掲載された。(以下掲載文)

『乳幼児の窒息や突然死につながるうつぶせ寝を防止するための装置を福島県の高校生が開発した。赤ちゃんがうつぶせになると、スマートフォン (スマホ) に警告が出る仕組みだ。実用性が評価され、複数の企業から製品化の話が持ち込まれている。

装置の名前は「Baby Informer (ベビーインフォーマー)」。ロボット製作でよく使う小型のセンサーを組み込んだ装置を 5 センチ四方のポーチの中に入れ、面ファスナーを使って赤ちゃんの衣服の胸のあたりにくっつける。ポーチはもう少し小さくすることも可能だが、誤飲を避けるため、あえてこの大きさにした。

センサーが体の傾き具合を感知し、そのデータを無線 LAN を通じてスマホなどの端末に送る。体が 45 度傾くと警告画面が出る。100 度を超え、うつぶせに近い状態になると、「Danger (危険)」という音声も出る仕組みだ。

(中略) 大学院生から高校生まだが電子部品を使ったシステムなどのアイデアを競う国際コンテストに出展したところ、国内の予選を通過。昨年 7 月、11 カ国・地域の 23 チームが参加し、パリで開催された世界大会で特別賞に選ばれた。』

③MEMSPC 人材育成事業

MEMSPC では、既存産業の高付加価値化、競争力強化のため、MEMS 技術全般について体系的に習得した人材を育成する事業を、産学官連携で提供した。

- ・基礎講座 (インターネットスクール) 受講者数 : 13 名
- ・設計・試作実習講座

(3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMS パークコンソーシアムのホームページ上に、MEMS 技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。

- ・平成 28 年度 各種展示会での相談件数実績 : 16 件

(4) ネットワーク形成事業

各種セミナー・フォーラムの開催後、参加者相互、講演者等とのネットワーク構築、情報交換のための交流の場を提供し、多数の皆さまにご参加いただいた。

- ・交流会の実施：7回

3 東北大学試作コインランドリ

MEMS を中心とした各種半導体試作開発に関わる 4/6 インチラインを企業などに開放し、実用化を支援している。技術は保有しているが、適当な試作開発設備が無く困っている企業等が人材を派遣して自ら試作を行うことで開発のコスト、リスクを軽減でき、実際の経験を持つ技術者も育成できる。

2013 年度には、試作コインランドリの取組みが評価され、第 11 回産学官連携功労者表彰経済産業大臣賞を受賞した。さらに、試作コインランドリで助手を務める森山雅昭氏が、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム平成 26 年度技術支援賞を受賞された。

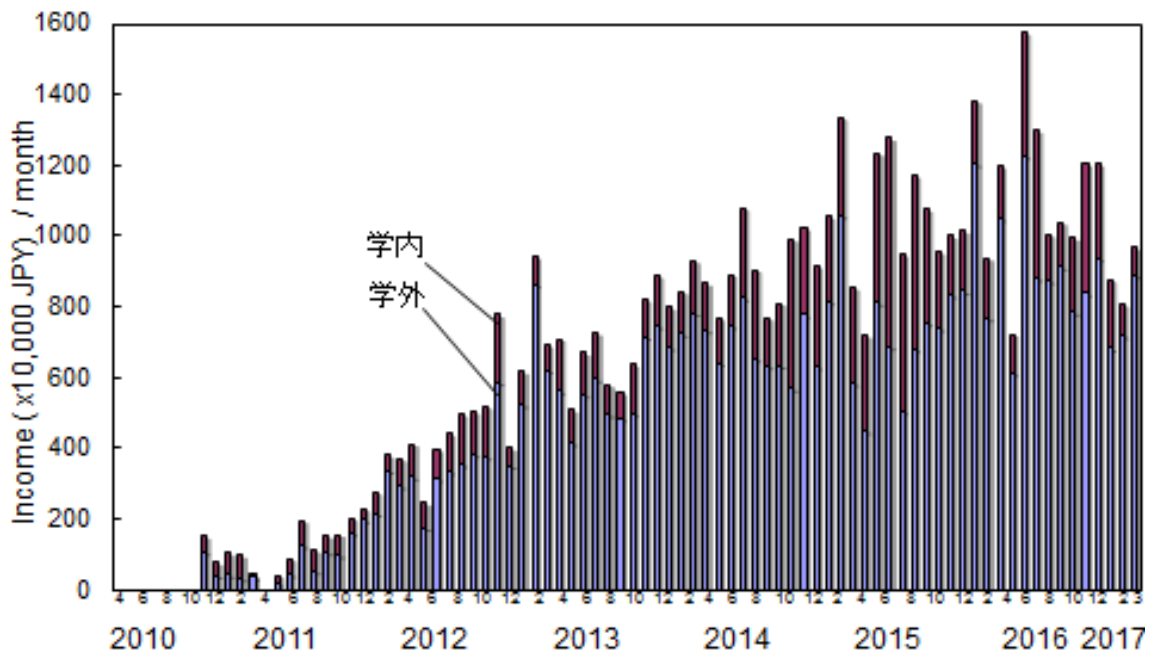
《平成 28 年度利用実績》 ※平成 29 年 3 月末現在

- ・利用件数 8,577 件
- ・利用料収入 12,894 万円

(参考) 平成 27 年度利用実績

- ・利用件数 5,853 件 (※これまでの推移は下図参照)
- ・利用料収入 12,571 万円

試作コインランドリ 利用料収入 ~2017.3



H28 年度 決算報告

1 一般会計 ※平成 29 年 3 月末現在
円)

(単位 :

収入の部			
項目	H28年度予算	H28年度決算	備考
前年度繰越金	10,528,170	10,527,230	
会費収入	4,050,000	4,350,000	会員数、申込口数の増加
雑収入	0	0	
銀行利息	0	164	
合計	14,578,170	14,877,394	

支出の部				
項目	内訳	H28年度予算	H28年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	77,976	
	サーバレンタル費用	200,000	201,096	
	ドメイン更新費	10,000	0	
	HP更新作業費	90,000	86,616	
小計		330,000	365,688	
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	30,000	13,737	※ナノマイクロビジネス展の後身。展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan関係	240,000	177,380	東北パビリオン共通装飾費, 展示物送料
小計		270,000	191,117	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	250,000	275,616	MEMSPCブース出展費用
	MEMS集中コース開催経費	150,000	80,315	講義映像記録費, 講師謝金・旅費
	仙台マイクロナノ国際フォーラム関係	20,000	14,000	パネル出展費
小計		420,000	369,931	
交流会開催費 (MEMSPC Café)	MEMS集中コース	200,000	99,516	
	仙台マイクロナノ国際フォーラム	200,000	142,216	
	マイクロシステム融合研究会	300,000	38,932	
	MEMSマッチングフォーラム	200,000	138,336	
	μ SIC最終報告会		54,216	
小計		900,000	473,216	
iCAN運営費 (特別会計へ繰出し)	国内予選開催経費	870,000		
	世界大会出場補助	2,160,000	1,641,690	※詳細な内訳は特別会計予算参照
	iCAN CES派遣費	1,420,000		
小計		4,450,000	1,641,690	2,808,310
事務関係費	事務用品費	60,000	34,402	事務用品費, 請求書・各種案内送料
小計		60,000	34,402	
ショールーム関係費用	建物貸付料	160,000	155,800	※借上げ面積の見直しにより減額
	光熱費	200,000	51,437	H28.2月~H29.1月(12ヵ月分)
小計		360,000	207,237	
新規事業関係費	情報発信事業	200,000	174,620	センサシンポ出展費, SEMICON Japan iCAN展示対応者旅費
	その他(新規プロジェクト創成)	500,000	0	
		700,000	174,620	
予備費	次年度繰越金	7,088,170	11,419,493	
小計		7,088,170	11,419,493	
合計		14,578,170	14,877,394	

(総事業経費)		7,490,000	3,457,901	
---------	--	-----------	-----------	--

2 特別会計 (iCAN'16 運営費) ※平成 29 年 3 月末現在
円)

(単位 :

【特別会計】収入の部			
項目	H28年度予算	H28年度決算	備考
前年度繰越金	53,897	52,115	
一般会計からの繰入金	4,450,000	1,641,690	国内予選64万円, 世界大会104万円,
協賛金・助成金(AIMR)	0	500,000	世界大会に対する三菱UFJ財団助成金
雑収入	0	0	
銀行利息	0	20	
合計	4,503,897	2,193,825	

【特別会計】支出の部				
項目	内訳	H28年度予算	H28年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加(15チーム)旅費	180,000	161,404	関西地域(25,000円/人×1チーム) 東北地域(5,000円/人×5チーム) ※1チーム4名まで。県内からの参加者は補助なし。
	世界大会参加(2チーム)旅費	115,000	127,420	
	CES派遣費(1チーム)	65,000	0	
		360,000	288,824	
海外旅費	世界大会参加(2チーム)旅費	1,756,000	1,271,092	航空券, 宿泊料, 日当
	CES派遣費	1,269,000	0	H28年度は派遣なし
小計		3,025,000	1,271,092	1,753,908
人件費	国内予選審査員・司会謝金	120,000	120,432	20,000円×6名
小計		120,000	120,432	-432
会議費	世界大会参加費	88,000	0	
	CES登録料	72,000	0	
		160,000	0	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	300,000	121,276	上限20,000円×13チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	15,868	上限20,000円×2チーム
	CES展示備品費	20,000	0	
小計		360,000	137,144	222,856
使用料・借用費	国内予選会場使用料	70,000	19,366	エルパーク仙台使用料(IEEE-NEMSと按分)
	世界大会借用料	70,000	104,648	バス借用料
小計		140,000	124,014	15,986
印刷・製本費	国内予選広報費	50,000	50,209	iCAN'17国内予選募集チラシ制作費
小計		50,000	50,209	-209
食糧費	国内予選交流会費	100,000	126,480	
小計		100,000	126,480	-26,480
事務関係費	消耗品費・事務手数料など	10,000	4,200	国内予選・世界大会合計
小計		10,000	4,200	5,800
雑費	国内予選事務経費	40,000	47,980	チラシ送料, MEMSセンサ送料など
	世界大会事務経費	90,000	23,450	海外旅行保険料
小計		130,000	71,430	58,570
予備費	次年度繰越金	48,897	0	
小計		48,897	0	
合計		4,503,897	2,193,825	

(総事業経費)		4,455,000	2,193,825	
---------	--	-----------	-----------	--

平成 29 年度事業計画 (案)

審議事項

- 1 役員の就任・辞任・変更
- 2 平成 29 年度事業計画（案）
- 3 平成 29 年度予算（案）

1 役員の就任・辞任・変更

~~5月開催のMEMSPC総会にて承認を得た後、~~下記のとおり役員体制を変更する。

(1) 就任・辞任

新	旧	所属	氏名
—	推進委員	株式会社アドバンテスト コンポーネント	岡元 隆
推進委員	—	株式会社ティ・ディ・シー	赤羽 優子
推進委員	—	株式会社リコー	斎藤 哲郎

(2) 変更

現時点で該当なし。

2 平成 29 年度事業計画（案）

平成 28 年度に引き続き，①情報発信事業，②人材育成事業，③技術相談事業，④ネットワーク形成事業を実施すると共に，以下のとおり事業の充実化を図る。

(1) Smart Sensing 2017 への出展

平成 29 年度より新設される「Smart Sensing 2017」に MEMSPC ブースを出展する。この展示会は，センシング技術と IoT 社会のニーズを繋げることを目的とした展示会であり，IoT への活用が期待され，MEMS 関連技術を必要とする分野の企業の来場が見込まれるため，MEMSPC として会員企業・東北大学・行政の産学官連携の取組みや，ものづくりネットワークを広くアピールする。

(2) 仙台マイクロナノ国際フォーラムにおける MEMSPC 会員企業の展示出展助成

仙台マイクロナノ国際フォーラムにおいては，会場内において企業展示会を開催し，企業の技術を発信する場としてご利用いただいているところだが，平成 29 年度は MEMSPC 会員企業の出展料を MEMSPC が負担することで，会員企業がより効果的に情報発信を行えるようサポートする。

(3) MEMSPC 会員企業の要望に応じたネットワーク構築活動

これまでの MEMSPC の取組みにより培ったネットワークを，会員企業がより効果的に利用できるよう，要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。

3 平成 29 年度予算 (案)

(1) 平成 29 年度 MEMSPC 予算積算内訳 (一般会計)

(単位 :

円)

H29MEMSPC予算積算内訳(一般会計)案

収入の部				
項目		H28年度決算	H29年度予算	備考
前年度繰越金		10,527,230	10,577,330	
会費収入		4,350,000	4,350,000	会員数70社(3月31日現在)
雑収入		0	0	
銀行利息		164	0	
合計		14,877,394	14,927,330	

支出の部				
項目	内訳	金額	金額	備考
広報関係費	活動案内パンフレット増刷	77,976	80,000	
	サーバーレンタル費用	201,096	200,000	
	HP更新作業費	86,616	100,000	
小計		365,688	380,000	
出展関係費	Smart Sensing 2017	0	70,000	H29年度より新規開催。展示物送料, 出展雑費
	MEMSセンシング&ネットワークシステム展 2017	13,737	30,000	展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan 2017	177,380	300,000	東北パビリオン共通装飾費, 展示物送料, iCANアプリケーション展示対応者旅費など
小計		191,117	400,000	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	275,616	70,000	MEMSPCブース出展雑費, 展示物送料
	MEMSPC総会関係	0	200,000	会場費, 講師謝金・旅費等
	MEMS集中コース関係	80,315	600,000	講義映像記録費, 講師謝金・旅費, 企業展示会等
	仙台マイクロナノ国際フォーラム関係	14,000	230,000	MEMSPC出展費, 会員企業出展助成費
小計		369,931	1,100,000	
交流会開催費 (MEMSPC Café)	MEMSPC総会	0	200,000	
	MEMS集中コース	99,516	200,000	
	MEMSマッチングフォーラム	142,216	200,000	仙台市事業と併催
	仙台マイクロナノ国際フォーラム	38,932	200,000	
	マイクロシステム融合研究会	138,336	100,000	年3回開催予定
	μSIC最終報告会	54,216	0	
小計		473,216	900,000	
iCAN'17運営費 (特別会計へ繰出し)	iCAN'17運営経費	1,641,690	1,000,000	※詳細な内訳は特別会計予算参照。
小計		1,641,690	1,000,000	
事務関係費	事務用品費	34,402	50,000	事務用品費, 請求書・各種案内送料
小計		34,402	50,000	
ショールーム関係費	建物貸付料	155,800	160,000	
	光熱費	51,437	60,000	
小計		207,237	220,000	
新規事業関係費	情報発信事業	174,620	0	
小計		174,620	0	
予備費	次年度繰越金	11,419,493	10,877,330	
小計		11,419,493	10,877,330	
合計		14,877,394	14,927,330	

(総事業経費)		3,457,901	4,050,000	
---------	--	------------------	------------------	--

(2) 平成 29 年度 iCAN'17 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位 :

円)

【特別会計】 収入の部				
項目		H28年度決算	H29年度予算	備考
前年度繰越金		52,115	0	
一般会計からの繰入金		1,641,690	1,000,000	
協賛金・助成金(見込含)		500,000	1,500,000	三菱UFJ財団:500,000円, 小西国際交流財団:500,000円, KDDI財団:500,000円
雑収入		20	0	銀行利息
合計		2,193,825	2,500,000	
【特別会計】 支出の部				
項目	内訳	金額	金額	備考
国内旅費	国内予選参加旅費	161,404	410,000	東北地域:5,000円×4名=20,000円, 関東地域:13,000円×4名=52,000円, 中部地域:23,000円×10名=230,000円, 関西地域:25,000円×4名=100,000円
	世界大会参加(8名)旅費	127,420	250,000	仙台⇄東京:10,890円×2×4名=87,120円, 京都⇄東京:13,080円×2×4名=104,640円, 東京⇄成田:3,020×2×8名=48,320円
小計		288,824	660,000	
海外旅費	世界大会参加(8名)旅費	1,271,092	1,120,000	成田⇄北京(往復):100,000円×8名=800,000円, 宿泊料:1夜10,000円×4泊×8名=320,000円
小計		1,271,092	1,120,000	
人件費	国内予選審査員・司会謝金	120,432	140,000	司会者謝金(フリーアナウンサーに依頼)、審査員6名謝金:20,000円×7名=140,000円
小計		120,432	140,000	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	121,276	300,000	試作補助費(1チーム2万円上限)×15チーム
	世界大会分試作補助費	15,868	40,000	試作補助費(1チーム2万円上限)×2チーム
小計		137,144	340,000	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	19,366	0	今年度は会場費不要
	世界大会借用料	104,648	0	今年度はバス借用費不要
		124,014	0	
印刷・製本費	国内予選広報費	50,209	50,000	国内予選募集チラシ制作費
小計		50,209	50,000	
食糧費	国内予選交流会費	126,480	50,000	交流会開催費
小計		126,480	50,000	
事務関係費	消耗品費・事務手数料など	4,200	10,000	目録・賞状等事務用品費
小計		4,200	10,000	
雑費	国内予選事務経費	47,980	50,000	チラシ送料, MEMSセンサ送料など
	世界大会事務経費	23,450	50,000	海外旅行保険料, 送料・手数料等事務費など
小計		71,430	100,000	
予備費	一般会計繰戻金	0	30,000	年度末残額分は一般会計へ繰戻
小計		0	30,000	
合計		2,193,825	2,500,000	
(総事業経費)		2,193,825	2,470,000	

*国内旅費・海外旅費における交通費, 宿泊料, 日当は、MEMSPC旅費規程(改訂版)を基準とする。

MEMS パークコンソーシアム 平成 29 年度役員名簿

肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター 教授 革新的イノベーション研究機構 リサーチフェロー		江刺 正喜
副代表	SEMIジャパン		代表	中村 修
副代表	東北大学	NICHE	教授	桑野 博喜
副代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
副代表	総合科学技術イノベーション会議		有識者議員	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	岩瀬 恵一
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	吉田 祐幸
副代表	仙台市	経済局	局長	石川 浩史
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	佐野 成信
幹事	富士電機 株式会社	技術開発本部システム技術研究センターシステム 基盤技術研究部	部長	武居 正彦
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	清水 雅男
幹事	株式会社 メムス・コア		代表取締役社長	本間 孝治
幹事	東北イノベーションキャピタル 株式会社		代表取締役社長	熊谷 巧
幹事	国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター		上席イノベーションコー ディネーター	南條 弘
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	経済産業部	部長	西山 英作
幹事	公益財団法人 仙台市産業振興事業団		シニアアドバイザー (FWBC担当)	吉村 洋
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	海輪 誠
顧問	東北大学		総長	里見 進
顧問	東北経済産業局		局長	田川 和幸
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	奥山 恵美子

【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	MEMSパークコンソーシアム		事務局長	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長	柏原 滋
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	未来技術研究所先端デバイス研究センター	主幹研究員	齋藤 哲郎
委員	一般社団法人 東北経済連合会	ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	三上 洋一
委員	東北経済産業局	地域経済部次世代産業室	室長	渡邊 守章
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	大庭 豪樹
委員	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	課長	白岩 靖史

【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	秘書	加藤 千明
	東北経済産業局	地域経済部次世代産業室	室長補佐	齋藤 美和
	東北経済産業局	地域経済部次世代産業室	係長	田丸 大志
	東北経済産業局	地域経済部次世代産業室	係員	佐々木 翔
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主事	大石 広幸
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	室長	業永 規行
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主事	佐藤 伸洋
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	技師	森 真介